



新宿区放課後子どもひろばプラス事業従事職員の
新型コロナウイルス感染症の感染確認について

新宿区立小学校内放課後子どもひろばプラス事業に従事する職員が、新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【概要】

勤務する事業	年代	性別	居住地	症状	発症日	渡航歴
放課後子どもひろばプラス事業	60代	男性	新宿区	めまい・吐き気・発熱	4月1日	なし

(注)

●濃厚接触者：家族（妻）、同事業スタッフ、同事業利用児童

1 新宿区の確認日

令和2年4月11日（土）

2 感染判明の経緯

- 4月1日（水） めまい、吐き気の自覚症状あり、区内A医療機関を受診
- 4月2日（木） めまい、吐き気の症状は解消
- 4月4日（土） 37.3度の発熱、その後38度の発熱
- 4月5日（日） 38.2度の発熱
- 4月6日（月） 37.9度の発熱、下痢、区内B医療機関を受診
- 4月7日（火） 38.2度の発熱
- 4月8日（水） 38.1度の発熱、B医療機関にてPCR検査の紹介
- 4月9日（木） 区内C医療機関でPCR検査実施、38.1度の発熱
- 4月10日（金） 37.2度の発熱
- 4月11日（土） 36.5度の発熱、B医療機関を受診、陽性結果判明



3 患者の主な行動

通勤経路は徒歩、発症後、職場や病院以外は特に外出なしと聞き取り。

4月1日（水） めまい、吐き気の自覚症状のため欠勤し、医療機関を受診

4月2日（木） 欠勤

4月3日（金） 出勤（マスク着用）

4月4日（土）以降 発熱のため自宅療養

当該職員は、放課後子どもひろばプラス事業の支援員として子どもへの声掛け、外遊びでの見守り等を行っています。

4月3日（金）に当該職員が出勤した日には、22名の児童が同事業を利用しています。

当日はこの職員のほか5名が同事業に従事しています。

放課後子どもひろばプラス事業の概要

・放課後子どもひろば事業は、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所を確保するために、小学校施設を活用し、スタッフ支援のもと、子どもたちが自由に集い、自主的に活動する遊び場と体験プログラム提供の場です。

ひろばプラス事業は、放課後子どもひろば事業に出欠確認や利用時間の管理など学童クラブ機能を付加した事業です。

- ・区立小学校 24校で実施
- ・開設時間 通常 : 放課後から午後7時まで
学校長期休業中 : 午前8時から午後6時まで
- ・利用料 : 無料

4 区の対応

- 上記、児童 22名及び職員 5名については健康状態を確認し、4月17日（金）まで健康観察を行います。
- 当該事業実施施設を一時閉鎖し、施設内の消毒を4月13日（月）に実施予定。
- 感染拡大防止を図るため、4月13日（月）から4月17日（金）まで、当該事業実施施設での放課後子どもひろばプラス事業を中止します。

ただし、就業等により、ご家庭での監護ができない場合には、近隣の区施設で受け入れます。

- 利用者及び保護者の皆様には個別に連絡済み。
- 本件に関する問い合わせ窓口を子ども家庭部に設置します。
- なお、併設している保育施設については、近隣の区施設で児童の受け入れを行います。